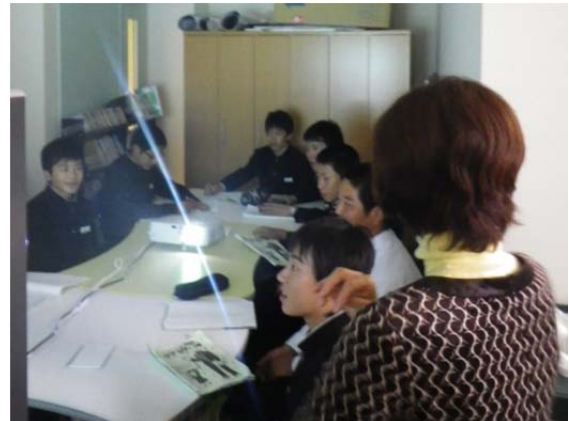


石巻市立桃生中学校の生徒らが津波工学研究室を訪問しました(2011/10/5)

10月5日(水)、石巻市立桃生中学校(宮城県)の中学生8名と教員1名が当センターの津波工学研究室を訪問しました。今回の訪問は、桃生中学校の企画によるもので、大学の訪問を通して、具体的に大学とはどのような場所かを実際に見学し、将来設計の視野を広げる目的で行われました。本学の工学部では、機械系、電気・情報系、人間・環境系が受け入れ先となり、桃生中学校のみなさんは、当センターの津波工学研究室を訪問しました。アナワット研究員や保田研究推進支援員が津波の発生メカニズム、研究室での世界的な研究活動の内容について紹介を行いました。案内役の一人がタイ出身の研究員ということで、桃生中のみなさんは大学の国際的な雰囲気驚いているようでした。被災地にいる桃生中のみなさんに配慮した上で、今回はスマトラ沖地震津波のCGシミュレーションを見てもらい、数値計算からCGが作られて行くことや、海は世界共通でどこで起きてても波は世界中に伝わって行くことなどを説明しました。参加した生徒さん達は、津波災害が地球規模の災害ということを改めて認識してくれたようでした。



説明に当たるアナワット研究員



説明にあたる保田研究推進支援員

写真提供：東北大学大学院工学研究科情報広報室(左側)